

令和8年度伊勢茶ブランドリノベーション事業
伊勢茶ブランド活力強化プログラム

別紙1

①(注1)

策定: 令和●年●月●日

1 プログラム策定団体

代表事業者名	まる〇〇製茶株式会社
代表者名	〇〇 〇郎
住所又は所在地	〒〇〇〇-〇〇〇
	三重県〇〇市××町△△1234番地

2 事務担当者

氏名	〇〇 〇子		
所属、役職	営業部 係長		
電話番号	0000-△△-3456	FAX	0000-△△-4567
E-mail	△△△@×××.〇〇		

まる〇〇製茶株式会社 は、伊勢茶のブランド力向上に尽力するため、マーケットインの考えをもって伊勢茶生産農家と連携し、以下の取組を実施します。

3 プログラムに取り組む背景および目標

近年の……な情勢を受け、茶農家と相談し、市場評価が安定している……を増産する。また、消費者からは……のような茶葉を求められている。それに対応するため荒茶加工機の機能向上に取り組むことで……な茶葉の生産をめざす。

4 プラグラムの取組内容とそれにより期待される効果

蒸機の制御盤の機能を向上することで、……ことができるようになり、……な茶葉の生産につながる。

5 プログラム取組計画

事業実施主体数	強化プラン	取組実施面積	総事業費		ポイント合計点
				補助額	
5 戸	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	100 a	2,000,000 円	1,000,000 円	87
	<input checked="" type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上	530 a	7,000,000 円	3,500,000 円	
	<input type="checkbox"/> その他	a	円	円	
合計(注3)		600 a	9,000,000 円	4,500,000 円	

6 事業実施主体取組計画

事業実施主体名 (生産者氏名)	経営面積	取組効果《実績報告項目》		取組計画面積 (注2)	計画事業費 (税抜き)		事業着手年月日	事業完了年月日	
		(A) 生産する茶葉の全窒素向上《全窒素(%)、繊維(%)》	(B) 外観、内質の向上《①外観 ②水色 ③滋味 ④香気》		補助額				
		A~C	取組内容						
1 〇〇 一郎	220 a	(B)	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	30 a	600,000 円	300,000 円			
			<input checked="" type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上(蒸機KM-100)	220 a	4,000,000 円	2,000,000 円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
2 〇〇 二郎	500 a	(A)	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	20 a	400,000 円	200,000 円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
3 〇〇 三郎	1,000 a	(A)	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	40 a	800,000 円	400,000 円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
4 〇〇 四郎	550 a	(A)	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	10 a	200,000 円	100,000 円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
5 〇〇 五郎	310 a	(B)	<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input checked="" type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上(ケバ取機KC-12)	310 a	3,000,000 円	1,500,000 円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
6	a		<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
7	a		<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
8	a		<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
9	a		<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			
10	a		<input type="checkbox"/> 被覆資材の導入	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上()	a	円	円			
			<input type="checkbox"/> その他()	a	円	円			

(注1) 事業実施主体数が11者以上の場合は、複数枚に記載し、右肩の口欄に枚数が分かるよう番号を振ること。なお、2枚目以降は1~5を記載する必要はない。
 (注2) 「製茶ラインの機能向上」については、事業実施主体の経営面積のうち、対象製茶ラインをもって加工される茶葉の生産面積の累積とすること。(例:一番茶10ha + 二番茶10ha + 秋番茶10ha = 30ha)
 (注3) 補助率は1/2以内、プログラムあたりの補助上限が5,000,000円であることから、総事業費が10,000,000円を上回る場合でも補助額は5,000,000円以下とすること。

7 取組実績

事業実施主体数	強化プラン	取組実施面積	総事業費	
			補助額	
5 戸	<input checked="" type="checkbox"/> 被覆資材の導入	100 a	1,900,000 円	950,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 製茶ラインの機能向上	530 a	7,000,000 円	3,500,000 円
	<input type="checkbox"/> その他	a	円	円
合計		600 a	8,900,000 円	4,450,000 円

事業実施主体名 (生産者氏名)	導入設備及び資材の名称	取組 実施 面積	総事業費 (税抜き)		取組効果(注1) (A) 全窒素(%)、繊維(%) (B) ①外観 ②水色 ③滋味 ④香気 *どれも1つを選択* (C) 1日あたり最大荒茶製造量(kg) *どちらも記入*(注2)	補助額			
			補助額	取組前 (R8年度)					
				R9年度		R10年度	R11年度	R12年度	
1	・寒冷紗 ・蒸機KM-100	220 a	4,500,000 円	2,250,000 円	②水色				
2	・寒冷紗	20 a	400,000 円	200,000 円	全窒素 繊維				
3	・寒冷紗	40 a	800,000 円	400,000 円	全窒素 繊維				
4	・寒冷紗	10 a	200,000 円	100,000 円	全窒素 繊維				
5	・ケバ取機KC-12	310 a	3,000,000 円	1,500,000 円	①外観				
6		a	円	円	最大荒茶 製造量				
7		a	円	円					
8		a	円	円					
9		a	円	円					
10		a	円	円					

(注1) 取組効果の評価については、一番茶で実施するものとし、取組実施後3年間は継続すること。

(注2) 全窒素および繊維の分析結果印字シートは、他の証拠書類と同様、事業完了日の属する年度の翌年度から起算して5年間整備保管すること。